

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

旭川市立緑が丘小学校（北海道）【指定校】

## 【取組内容】 児童と教師間での学習計画の共有

○Googleクラスルームや大型提示装置を活用して、単元や1単位時間の学習計画を児童と教師が共有できるようにした。

○目標・視点・学習の流れ・資料等を集約して共有することで、学びを進める際のよりどころができ、自力で課題に取り組む児童が増えた。

○事前に提示することで、あらかじめ学習内容を確認する児童が増えたことにより、授業時の説明・指示が減り、個々の見取りや支援を行うことができる時間が増えた。

### 教師の記入事項や留意点

教科・単元名・時数

・学習課題や目標  
・意識させたい視点  
(見方・考え方)

・ゴールまでの見通し  
・児童が自力で進める  
ことができるような  
指示

・前時までの学習記録  
(まとめ・振り返り)  
・学習コンテンツ  
(外部HPや動画など)

### 児童と共有する学習計画

国語：きいて、きいて、きいてみよう〈4時間目〉

すべての生徒

課題  
それぞれの役割の工夫やよさを確かめ、インタビュー本番に備えよう。  
視点  
話の流れ 質問の意図 要点  
目標  
それぞれの役割の工夫やよさがわかり、以前に決めた自分の目標を見つめ直す。

〈学習の流れ〉  
①課題設定  
・学習課題、流れを確認する。  
(クラスルーム、スプレッドシート)  
②情報の収集～③整理・分析  
(1)インタビュー動画から、記録者としてのメモに挑戦する。(ノート/ふきだしくん)  
(2)P48～49の会話文から、「きき手」と「話し手」の工夫やよさに線を引く。(教科書)  
④まとめ・表現  
・(1)と(2)について、友達と比べる。その後、全体で確認。  
・前回の質問メモを見直す。(スライド：まとめ3)  
・視点をもとに、自分の目標(ノート：2時間目のまとめ)を見つめ直す。  
・スプレッドシートに、次の時間のインタビュー目標を入力する。  
⑤ふり返り  
・次回の確認。

ふりかえりシート「きいて～」  
生徒がファイルを編集できる ...

きいて～まとめ3  
生徒がファイルを閲覧できる ...

インタビューの様子 | 広がる学び・深まる学び X